

R5年3月放送分
「防衛省職員の採用について」
(日本の防衛Q & A)
(自衛隊百科)

R5.2.21 収録

【パーソナリティー】

本日は、東北防衛局の職員採用を担当しています菅原楓すがわらかえでさんから「防衛省職員の採用」について、お話を伺います。よろしくお願いいたします。

【菅原】

はい。東北防衛局人事係の菅原と申します。本日は、よろしくお願いいたします。

防衛省といえば、皆さん自衛隊や筋骨隆々の自衛官を想像する方が多いのではないのでしょうか。しかし、私のような行政・事務職の「事務官」や技術職の「技官」も全国で勤務しており、女性も多く活躍しています。

自衛官のように戦闘訓練や体育訓練などの訓練はないので、体力に自信がなくても全く問題はありません。

本日はそういった事務官・技官の業務や採用についてお話させていただきます。

【パーソナリティー】

はい、私も以前は、東北防衛局の職員は自衛官だと思っていました。それでは「事務官」や「技官」の業務について教えてください。

【菅原】

はい、防衛省では約2万人を超える事務官・技官が全国各地で多種多様な業務を担っています。事務官は日本の防衛政策や予算の企画・立案、総務、会計、人事といった一般的な行政事務を、技官は専門分野ごとに戦車や航空機など装備品の点検・整備や、自衛隊施設の工事の設計・監督などの業務を行っています。

【パーソナリティー】

2万人も職員がいるんですか、すごい人数ですね。その一員となるためには、どのような試験を受験したらいいのでしょうか。

【菅原】

基本的には人事院が実施している国家公務員採用試験を受験し、最終試験合格後、防衛省の採用面接を受験していただきます。また、語学職の専門職員試験もあり、この場合は、防衛省が実施する試験を受験していただきます。

【パーソナリティー】

はい、間もなく新年度を迎えますが、試験日程は決まっていますでしょうか。

【菅原】

はい、直近の試験日程としては、総合職の第1次試験が4月9日、一般職の大卒程度が6月11日で、申込受付期間はどちらも3月1日～3月20日までとなっております。申込はHPから簡単にできますので、詳しくは人事院のHP「国家公務員試験採用情報NAV I」をご覧ください。

なお、高卒者の申し込みは6月頃となっております。

【パーソナリティー】

防衛省に採用された場合、勤務先も気になる場所ですが、自ら選ぶことが出来るのでしょうか。

【菅原】

防衛省の一般職採用面接は、陸・海・空の各自衛隊や地方防衛局などの採用予定機関ごとに行われるため、自分が希望する機関の面接を受けてもらいます。原則として受験した試験区分の地域に所在する機関に採用されますが、一般職試験の大卒程度技術系においては、他の省庁と同様、全国単位での採用となります。また、採用後は毎年、本人に対して勤務地や業務などの希望を確認する意向調査が行われ、防衛省本省や他機関で勤務する可能性もあり、様々な経験を積みキャリアアップすることができます。

私も平成30年に関東甲信越区分で受験し、平成31年度に陸上自衛隊の事務官として採用されました。初任地は、茨城県にある霞ヶ浦駐屯地で3年ほど勤務し、地方防衛局への異動を希望したところ、今年度から東北防衛局で勤務することとなりました。

【パーソナリティー】

そうだったんですね。

菅原さんのように国家公務員というと全国転勤があると思うのですが、どれくらいの頻度で転勤や異動があるのでしょうか。

【菅原】

概ね2～3年のサイクルで人事異動があります。また、異動先については、技官は専門性の高さから採用と同じく全国で勤務することになります。一方で事務官は、ブロック型人事管理の中で異動することになります。ブロック型人事管理とは、令和4年度から、職員やその家族の負担になっている転勤や単身赴任を削減するために始まったもので、市ヶ谷地区の中央と、北海道、東北、関東甲信越、東海北陸、近畿、中国・四国、九州及び沖縄の各地方ブロックを単位とした中での異動が基本となります。ただし、希望等により、中央機関や他のブロックに人事異動をすることは可能です。

東北ブロックを選択した場合、宮城県仙台市にある東北防衛局、青森県三沢市の三沢防衛事務所、福島県郡山市の郡山防衛事務所などで働くこととなります。

【パーソナリティー】

キャリアプランが立てやすくなったんですね。

ところで、東北防衛局は防衛省の中でどのような役割を果たしているのでしょうか。

【菅原】

東北防衛局では、東北に所在する自衛隊や在日米軍の基地・駐屯地などの整備や管理、防衛施設周辺住民の方々の生活福祉の向上や、地域住民と在日米軍との交流行事の実施など、幅広い業務を行い、国民と自衛隊・在日米軍との架け橋としての役割を担っています。

【パーソナリティー】

防衛省の職員として働くことの魅力とはどのようなものでしょうか。

【菅原】

はい、日本を取り巻く安全保障環境は戦後最も厳しく複雑なものになっています。その中で、国民のみなさんの生命・財産を守り、国際社会の平和と安定に貢献し、国家存続の根幹を守る防衛省の責任・役割は益々重要になっています。安全保障という国の行方を左右するフィールドで「当事者」として仕事ができるということが大きな魅力だと思います。

【パーソナリティー】

「安全保障」や「国防」の一翼を担う職場ということですね。

もう少し詳しく防衛省や東北防衛局などの業務を知りたい場合は、どのようにしたらよろしいでしょうか。

【菅原】

防衛省では様々な業務セミナーやオンラインで職員と少人数懇談会を行っています。勤務している職員から直接業務に関する話を聞くことができたり、実際に職場を見学することができます。セミナーに参加いただくことで、防衛省の職員がどんな所で仕事をしているのか、イメージを深める事ができると思います。興味がある方は防衛省や東北防衛局のHPで開催日時などを随時掲載しますので、ぜひご覧ください。

【パーソナリティー】

わかりました。

それでは最後に国家公務員を目指している方々に対しメッセージをお願いします。

【菅原】

国家公務員は、人々の暮らしをより豊かにするために、この国の人々を想い、考え、必要な政策を実行しています。それぞれの府省が、

それぞれの角度からこの国に存在する全ての人のための仕事をしています。

「国防」というとあまり身近なことではないように思えるかもしれませんが、防衛省はとても大きな組織ですので、幅広い仕事があります。何かこれをしてみたいという明確な目標がある方も、まだ自分のやりたいことを見出せていない方も、自分のやりがいにつながる業務が見つかるかもしれません。

ぜひ一度説明会や業務セミナーに足を運んでいただき、選択の1つに防衛省を加えていただければ幸いです。

【パーソナリティー】

本日は、防衛省職員の採用について、東北防衛局の採用担当、菅原さんにお話をお伺いいたしました。ありがとうございました。

【菅原】

こちらこそ、ありがとうございました。

【パーソナリティー】

このコーナーでは、よりよい内容にしていくため、ラジオをお聞きの皆さまからご意見・ご感想を募集しております。お聞きのコミュニティ放送局までご連絡ください。